

第五十六回
帝國議會
貴族院

無線電信法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

委員氏名

委員長

内田 嘉吉君

副委員長

男爵三須 精一君

侯爵中山 輔親君

伯爵酒井 忠正君

子爵朽木 綱貞君

鍋島桂次郎君

森 廣三郎君

若尾 璋八君

森田 福市君

昭和四年三月二十日(水曜日)午前十時二十四分開會

○委員長(内田嘉吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、先ヅ主務大臣ノ本案ニ對スル大體ノ御説明ヲ煩シタイト思ヒマス

○國務大臣(久原房之助君) 是ヨリ御審議ヲ煩シマスル無線電信法中改正案ノ内容ニ付キマシテ概略御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス、國際無線電信會議ハ明治四十五年倫敦ニ於テ開催セラレマシテ以來實ニ二十五箇年ヲ經過シマシテ、一昨年華盛頓ニ於テ開催セラレタ次第デゴザイマス、此間無線電信、無線電話ノ顯著ナル發達ヲ見マシタル關係上、同會議ニ於キマシテ新タニ國際的ニ決定セラレマシタ問題ハ少クナイノデア

リマスガ、其中デ條約ノ適用範圍ヲ擴張シマシテ、一切ノ無線電信ニ及ボシタルコト、並ニ無線通信從事者、無線通信ノ混信防止、及ビ船舶航空機ノ航行ノ安全ニ關スル通信ニ付テ、詳細ノ規定ヲ設ケマシタルコトハ最も重要ナ事柄デアアルノデゴザイマス、是等ノ事柄ニ付キマシテハ國內ノ關係ニ於キマシテモ同ジ步調ヲ取ル必要ガアル次第デゴザイマス、デ我國内ノ無線電信、無線電話ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク年ト共ニ其普及發達ヲ見マシテ、大正四年無線電信法ヲ制定イタシマシタ當時ハ無線電信ノ施設數トシテハ僅カニ八十内外ヲ算スルニ過ギナイ有様デアリマシタガ、爾來海運界ノ需要ニ連レ又産業經濟ノ振興ニ伴ヒマシテ、今日ニ於キマシテハ全國ニ於ケル無線電信、無線電話ノ施設數ハ千五百餘ニ上ラテ居リマス次第デ、其中既設ノ無線電信、無線電話ダケデ千以上トナッテ居ルノデゴザイマス、尙ホ此外放送ヲ聽クモノ、即チ「ラヂオ」ノ如キハ實ニ五十數萬ト云フ大ナル數字ヲ示シテ居ルノデアリマシテ、無線電信、無線電話ノ普及發達ハ將來真ニ測リ知レナイ狀態ニアルノデゴザイマス、從ヒマシテ國際關係ト同一歩調ヲ取ルノ外ニ、

尙ホ其圓滿ナル發達ヲ期スル爲ニ其通信ヲ取締リ、及ビ電波ノ統制ニ付キマシテ、適當ノ處置ヲ致サネバナラヌノデゴザイマス、此改正法案ハ條項トシテハ十三箇條ニ互ッテ居リマスルガ、其顯著スル所ノ趣旨ハ只今ノ述ベタ通りデアリマシテ、改正ノ要點ハ大體之ヲ四ツニ分ケテ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス、先ヅ第一ハ電波ノ統制ニ付テ必要ナル規定ヲ設ケムトスルノデゴザイマス、御承知ノ如ク無線電信ヲ圓滑ニ疎通イタサセマスニハ、電波ノ混亂ナキ狀態ヲ必要トスルノデアリマシテ、是ガ爲ニハ無線通信ノ混信防止、通信障礙防止ノ處置ヲ必要トスルノデゴザイマス、無線電信ノ混信防止通信障礙防止ニ付テハ從來特ニ規定シテナカッタノデアリマスルガ、改正國際無線電信條約ガ電波統制ニ重キヲ置ク趣意ニモ鑑ミマシテ、新ニ施設ノ無線電信無線電話ニ對シテハ、是ガ爲必要トスル場合ハ許可ノ取消、設備ノ變更、使用ノ制限、又停止等ノ處置ヲ爲シ得ルコトトシマシテ、其通信從事者ノ資格、及ビ配置、定員ニ關スル規定ヲ補足シタ外ニ、尙ホ高周波電流ヲ使用スル通報信號施設及高周波電流ヲ發シ、一般通信ヲ障害スルガ如キ電氣設備ニ

對シマシテモ、ソレノ必要ナル處置ヲ爲シ得ルヤウナ規定ヲ設ケマシテ、廣ク電波ノ統制上遺憾ナキヲ期スルコトニシタ次第デアリマス、第二ハ無線電信無線電話ノ通信取締ノ規定ヲ補足セムトスルコトデゴザイマス、無線通信ハ線條ノ連絡ナクシテ非常ニ廣イ範圍ニ極メテ迅速、擴散スルノデアリマスカラ、不法ノ目的ニ之ヲ使用スル場合ニ於キマシテハ、其社會ニ及ボシマス惡影響ハ眞ニ恐ル可キモノガアルノデゴザイマス、從來無線通信ノ取締方法ト致シマシテハ、電信官署電話官署ノ取扱ニ係ハルモノ、即チ公衆通信ニ付キマシテ之ヲ停止スルコトガ出來タニ過ギナカッタノデアリマスルガ、新タニ私設ノ無線電信無線電話ニ付キマシテハ、之ヲ停止スルコトガ出來ルヤウニ致シマシテ、尙無線通信トシテ此種ノ目的ヲ以テ發信スルコトヲ未然ニ防止スル爲ニ適當ナル取締規定ヲ設ケタノデゴザイマスガ、更ニ監督上必要ト認ムル場合ハ検査官吏ガ私設ノ無線電信無線電話ノ施設ノ場所ニ立入りマシテ、検査スルコトガ出來ルコトト致シマシテ、無線電信無線電話ノ通信取締上遺漏ナキヤウニ致シタノデゴザイマス、第三ハ無線電信無線電話ノ通

信ノ秘密保護ノ範圍ヲ擴張セムトスルコト
デゴザイマス、從來無線通信ノ秘密保護ノ
範圍ハ、電信官署電話官署ノ取扱中ニ係リ
マス公衆通信ノミニ限ラレテ居タノデア
リマスルガ、新タニ無線電信又ハ無線電話
ニ依ッテ送受中ノ私設ノ無線電信又ハ無線

電話ノ通信ノ秘密ヲモ保護スルコト、致シ
マシテ、改正國際無線電信條約實施ニ伴ヒ
マスル必要ニモ合致セシムルコト致シタ
ノデゴザイマス、第四ハ公衆通信ノ用ニ供
スル無線電信無線電話ノ無料取扱ノ範圍ヲ
擴張セムトスルコトデゴザイマス、從來船
舶航空機ノ遭難通信、及報時通信、氣象通
信等ニ付キマシテハ其取扱ヲ無料トシテ居
ルノデアリマスルガ、船舶及航空機ノ航行
ノ安全ニ關シマスル通信モ、亦公益上極メ
テ重要ナ性質ヲ有スルモノデアリマスルノ
ニ鑑ミマシテ、新タニ之ヲ無料取扱ノ範圍
ニ加ヘルコト、致シマシテ、改正國際無線
電信條約ノ趣意ニ應ズルコト、致シタ次第
デゴザイマス、改正ノ要點ハ大略以上ノヤ
ウナ次第デゴザイマス、尙詳細ハ御質問ニ
應シテ御答イタサセル積リデ居リマス
○委員長(内田嘉吉君) 是ヨリ質問ニ移リ
タイト思ヒマス、簡條モ餘リ長クゴザイマ
セヌカラ、大體ナリ、又逐條ナリ御隨意ニ
一ツ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ヨリ
チヨット御尋ネテ致シタイト思ヒマスガ、此昭

和三年十二月ニ華盛頓會議ノ條約ガ御批准
ニ相成リマシタノデゴザイマスガ、諸外國
ニ於キマシテモ當時參加イタシマシタ國々
ハ御批准ニナリマシタデセウカ、ドウデア
リマセウカ

○政府委員(畠山敏行君) 只今マデ批准イ
タシマシタ國ガ十八箇國ゴザイマス、條約
ニ加入イタシマシタノハマダ他ニモ大分ア
ルノデゴザイマスルガ、ソレト各國ノ批
准ノ手續上時日ガ間ニ合ヒマセヌモノト見
エマシテ、只今ノ所デハ十八箇國デアリマ
シテ、日本ノ外ハ南亞弗利加聯邦、澳大利
白耳義、加奈陀、丁抹、西班牙、亞米利加
合衆國、「フインランド」、「グレート」、ブリ
テン、英領印度、「アイルランド」自由國、
伊太利、諾威、和蘭、洪牙利、「マロツク」、
「ニュージーランド」デゴザイマス
○委員長(内田嘉吉君) チヨット間漏シマ
シタヤウデアリマスガ、獨逸、佛蘭西等ハ
批准ガ済ミ加入シテ居ル譯デアリマスガ
○政府委員(畠山敏行君) 獨逸、佛蘭西ハ
條約ニ調印ハ致シマシタノデアリマスケレ
ドモ、マダ批准ノ手續ガ済ミマセヌヤウデ
アリマス
○委員長(内田嘉吉君) 引續イテ御尋ネイ
タシマスガ、サウ致シマス此法律ヲ施行
スル上別ニ差支ヲ生ジマセヌデゴザイマス
カ

○政府委員(畠山敏行君) 此法律ヲ施行ス
ル上ニ付キマシテ、條約ニ調印イタシマシ
テマダ批准シナイ國ガアリマシテモ、法律
ノ實施上ニハ差支ナイト考ヘテ居リマス、
ソレハ内地ノ法律ニ於キマシテハ……色々
國際間ニ協議デ決メラレマシタ通信ノ防
遏、或ハ秘密通信……通信ノ秘密ヲ保護ス
ル、斯ウ云フ風ナコトニ付キマシテ消極的
ノ義務ヲ附加シテ居ルノガ多イノデゴザイ
マス、ソレハ國際間ノ無線電信ノ圓滿ニ交
換サレルコトヲ目的トシテ居ルノデゴザイ
マスルカラ、ソレ等ノ趣旨ニ合フヤウニ今
度ノ法律ニ於テ定メテ居ルノデゴザイマス
ルカラ、偶、或國ガマダ批准イタシマセヌデ
モ、日本ノ方デ法律ヲ實施イタシマシタ場
合ニ於テハ、條約ノ趣旨ガ一層遵奉スルニ
付キマシテ效力ガ多イノミデアリマシテ、
他ノ國ニ對シテ日本ガ法律ヲ實施シマシテ
モ何等迷惑ヲ感ジマセヌ、加之却ッテ都合ヨ
クナリマス、又外國ノ中デ條約ヲ批准イタ
シマセヌデモ、今度ノ條約ノ趣旨ハ前ノ條
約ノ趣旨ヲ根本カラ變ヘテ居ルノデハゴザ
イマセヌ、前ノ條約ノ趣旨ヲ一層完全ニシ
ヤウト云フ趣旨カラ出テ居リマスカラ、今
度ノ改正ノ條約ノ下ニ此法律ヲ拵ヘマシテ
モ、實行上何等ノ支障ハナイモノト考ヘテ
居リマス

○男爵三須精一君 國運ノ進展ト共ニ無線
電信無線電話ノ發達ハ、先程政府當局ノ御
話ノ通りニ非常ニ發達シテ參リマシタ、
從ッテ是ガ無線電信並ニ無線電話ノ通信ニ
從事スル者ノ養成ノコトニ付テハ當局トシ
テハ目下ドウ云フ方法ヲ採ッテ居ラレマス
カ
○政府委員(畠山敏行君) 無線電信ノ通信
從事者ノ養成ニ付キマシテハ、現在二ツノ
方法ヲ採ッテ居ルノデゴザイマス、一ツノ
方法ハ遞信省內ニ設ケテ居ル遞信省吏練
習所ト申シマス學校ガゴザイマシテ、ソチ
ラニ於キマシテ遞信省ニ於テ働キマスル通
信從事者ヲ養成イタシテ居リマスノデアリ
マス、ソレカラ民間ノ無線電信ノ仕事ニ從
事イタシマスル爲ノ通信從事者ハ、今日デ
ハ民間ノ無線電信講習所ガゴザイマスルカ
ラ、其講習所ニ於キマシテ年々歳々三百名
バカリノ人ヲ養成イタシテ居リマスノデ、
ソレデ今日マデ民間ニゴザイマスル澤山ノ
私設無線電信所ノ通信ニ從事スル人ガ、大
體ニ於テ遺憾ナク充當シ得ルヤウナ程度ニ
ナッテ居リマス、民間ノ無線電信講習所ト申
シマスルト、社團法人電信協會ト云フ公益
法人ガアッテ、ソレノ經營ニナリマス學校
デゴザイマシテ目黒ノ方ニアリマス、大體
設備モ完全イタシテ居リマスルシ、又教官
モ相當ナ人ガヤッテ居リマスノデ、其方カ
ラ出タモノハ相當ノ働キガアルノデアリマ

シテ、之ニ對シテ通信省ニ於キマシテハ定期又ハ臨時ニ試驗ヲイタシマシテ、通信省ノ認定イタシマスル資格ヲ具備シテ居ルカドウカト云フコトヲ檢定ノ上デ實務ニ就カシテ居ルノデゴザイマス、大體只今ハサウ云フ方法デヤッテ居リマス

○男爵三須精一君 茲ニ新シク無線電話ノ通信事務ニ從事スルト云フコトデアリマスカ、其從事者ノ養成ハ如何デスカ

○政府委員(富山敏行君) 無線電話ノ通信從事者ノ資格ニ付キマシテハ、今度ノ法律改正ノ際ニ新シク加ヘタイト思フ事項ノ一ツデゴザイマシテ、是ハ國際無線電信條約ニ依リマシテモ、從來無線電信ノ方ニ付テハ資格ヲ決メテ居ッタデアリマスルケレドモ、無線電話ニ付キマシテハ條約ノ方ニ於キマシテモ、此間ノ條約ニ於テ始メテ資格ヲ決メタノデゴザイマス、其關係カラ内地ニ於キマスル無線電信法ニ於キマシテモ、即チ國內的ノ關係ニ於キマシテモ、無線電話ノ通信從事者ノ資格ヲ決メテ置キタイト云フ考デゴザイマス、只今ハ無線電話ノ通信ハ實際ドウ云フコトニヤッテ居ルカト申シマス、陸上ト海上トノ間ノ聯絡、並ニ放送無線電話、此ニツノ實用ニ供セラレテ居ルノデアリマス、海上ト陸上トノ聯絡ニ無線電話ヲ使ッテ居リマスルノハ、門司ト神戸ニ於キマシテ、航海中ノ船ト陸上

ノ電話加入者或ハ其他一般ノ人ト、直接ニ電話デ話ヲスルヤウナ設備ガ現ニヤッテ居ルノデアリマシテ、其器械ノ運用ニ當リマス人、通信ノ取扱ニ當リマス人ノ資格ヲ決メテ置キマセヌト云フト、今後船ニ段々無線電話ノ器械モ附ケラレルコトニナリマサルカラ、ソレ等ノ器械ヲ扱フ人ガ不十分ナ智識ト不十分ナ技術デゴザイマシテハ、其無線電話ガ完全ニ行カヌノミナラズ外ノ無線電話ノ通信ニマデ妨害ヲ及ボシマスカラ、是等ノモノニハ相當ノ人ヲ配置シナケレバナラヌカト思フデアリマス、ソレカラ放送無線電話ハ御案内ノ通りニ全國今七箇所ヤッテ居リマスルガ、是ノ取扱者ハ相當ノ者ガ今從事シテ居ルノデアリマス、是等ニ付キマシテモ大分影響ノ範圍ガ大キイノデゴザイマスルカラ、相當ノ資格ノ人ヲ認定シテ配置スルノガ宜クハナイカ、要スルニ現在デハ大體差支ナイ程度ニナッテ居ルノデアリマスルケレドモ、法律上其根據ヲ明ラカニシテ置キマシテ、尙ホ無線電信トノ權衡カラ申シマシテモ無線電話ニ付キマシテハ一定ノ資格ヲ具ヘルト云フコトモ必要デアアルカト思フデアリマス、尙ホ將來ノコトヲ考ヘマス云フト、現ニ西洋デモ長距離ノ無線電話ト云フモノハチヨイチヨイヤッテ居ルノデアリマス、著シイ例ヲ申上デマスト伯林ト南米「ウエノスアイレス」ノ

間、和蘭ト蘭領印度ノ間ハ無線電話デヤッテ居リマス、又紐育ト倫敦トノ間ニヤッテ居リマスガ、我國ニ於キマシテモ斯ウ云フ風ナ長距離ノ無線電話ノ施設ガ或ハ近ク實施シ得ルヤウニナルノデハナイカト期待致シテ居リマス、旁、以テ無線電信ト同様ニ無線電話ニ付キマシテモ、通信從事者ノ資格ヲ相當ノモノニ極メテ置ク必要ガアルト思ヒマシテ此度改良案ニ追加致シタノデアリマス

○男爵三須精一君 サウ致シマスと詰リ資格ト云フモノハ何カ試驗ニ依ッテヤリマスカ、ソレトモ今迄ノ經歷ニ依ッテ是ナラバ十分デアアルト云フノデソレヲ認メテ、當局トシテハソレニ對シテ資格ヲ御與ヘニナルノデアリマスカ、何レノ方ヲ...

○政府委員(富山敏行君) 無線電話ノ資格ニ付キマシテハ此無線電信ヨリハ餘程程度ハ簡單デ宜クハナイカト思フデアリマス、國際條約ニ於キマシテハ無線電信ニ付キマシテハ三階級ニ分ケテ資格ヲ決メテ居リマスノニ反シテ、無線電話ニ付キマシテハ一階級デケデ宜シイト云フコトニナッテ居リマス、大體其資格ニ必要ト致シマス條件ハ、機械ノ運用ニ付テノ理論ト實際ノ知識、經驗、並ニ通信ヲ送ッタリ受ケタリスルコトノ技術ト、無線電信ニ關スル法規並ニ交通地理ニ付テノ大體ノ智識ヲ必要トス

ル、其等ノコトニ付キマシテノ一定ノ限度ニ於テ試驗ヲ致シタイト思フデアリマス、併ナガラ實際ニ付キマシテハ或ル學歷ヲ有ッテ居リマスレバ、事實上試驗ヲシナクテモ資格ヲ認定スルト云フコトハ現ニ無線電信ニ付テモヤッテ居リマスノデ、必ズシモ普通ノ入學試驗、或ハ文官試驗等ニ付テヤッテ居リマスヤウニ、形式的ノ試驗ヲ採ルカ採ラヌカニ付キマシテハ今日マダ決メテハ居リマセヌノデアリマスガ、現在無線電信ニ付キマシテハ實際文官試驗ノヤウニ試驗ヲヤッテ居リマスノト、一面ニ於キマシテハ認定ニ依ッテ資格ヲ決メテ居リマスノモアリマスカラ、無線電話ニ付キマシテモ兩方ノ方法ヲ認メテ宜クハナイカト私一個トシテハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ通信省内ニ於キマシテ省議ハマダ決ッテ居リマセヌ

○子爵朽木綱貞君 チョット政府委員ノ方ニ伺ッテ見タイノデスカ、此歐洲大戰以來軍隊方面ニ、斯ウ云フ方面ノ研究並ニ色々ノ施設ガ殖エテ來タヤウニ思フデアリマスガ、是等ノ方面トノ御聯絡ハドウ云フ風ニナッテ居リマスカ、チョット承リタイト思ヒマス、國際關係ハ斯ウ云フ範圍内デケデ宜シイノデアリマスカ、研究々々ト云ッテ色々今迄用キラレテ居ル程度以外ニ、色々高周波ノヤウナモノヲ使ッテ試驗ヲヤルト

カ何トカ云フ研究ノ目論ガアツタ場合ニ外
ノ研究ト違ヒマシテ斯ウ云フ場合ノ國際的
ノ關係ニナツテ參リマスルト云フト、サウ云
フモノガ陸軍デヤッタノガ一般ノ何ニ觸レ
ルト云フ事柄ガ、無論ソレハアツテハナラ
ヌノデアリマスケレドモ、研究デゴザイマ
スノデ遂ヒ手ガ滑ッテヤッタト云フ場合ニ、
是ハ何カ時期デモ限ルトカ或ハ斯ウ云フ時
間ナラ差支ナイト云フヤウナコトデ、是ハ
主務省ノ方デ御取締ニナルノデアリマス
カ、或ハ陸海軍デ、是ハ只自分デ斯ウ云フ
時間ナラ宜イト云フ譯デヤツテ居リマスカ、
ドウ云フ工合ノ御統制ニナツテ居リマスカ、
チヨットソレヲ承ハリタイノデアリマス
○政府委員(畠山敏行君) 陸海軍ト通信省
トノ間ニ於キマスル無線電信ノ技術上並運
用上ニ付キマシテノ關係ニ於キマシテハ、
大體總テノコトヲ關係省相互間デ能ク打合
シテヤツテ居リマスノデアリマスカラ、只研
究ニ付キマシテハソレト「ラボラトリ」
ガアリマスカラ、其「ラボラトリ」ノ方デ
室内ノ研究ハヤツテ居ルノデアリマシテ、實
際之ヲ實用ニ供シテ試験ヲスルトカ、或ハ
實用ニ供スルト云フヤウナコトニ付キマシ
テハ、陸海軍ハ陸海軍、通信省ハ通信省ト
致シマシテ形ハ別ニナツテ居リマスガ、併ナ
ガラ陸海軍ノ方デ使ヒマス電波ト通信省ノ
方デ一般商業用ニ使ヒテ居ル電波トハ區別

イタシテ居リマスカラ、相互間ニ互ニ妨害
シアフト云フコトハナイヤウニナツテ居リ
マス、殊ニ從來ハ電波ノ關係ニ付キマシテ
ハ國際的ニハッキリ決メタモノハゴ
ザイマセヌデシタガ、今度華盛頓ノ會議ノ
結果新シイ條約ニ於キマシテハ此點ニ付テ
非常ニ力ヲ入レマシテ、軍用上ニ付キマシ
テハ何「キロサイクル」ノ周波數ヲ使フ、ソ
レカラ一般ノ通信用ニ付テハ何「キロサイ
クル」カラ何「キロサイクル」ヲ使フ、
海上ノ方デハドノ位使フ、或ハ航海デ
ハドノ位使フト云フヤウニ波長ヲ區別
シテ居リマス、軍用ナラ軍用デ特別ノ波
長デヤツテ居リマス、周波數ヲ使フテ居リマ
ス、併ナガラ往々ニシテ周波數ノ近イ所ニ
アリマスト互ニ邪魔ヲシ合フ虞レガゴザイ
マスカラ、ソレニ付キマシテハ通信省ト陸
海軍ト此三省ノ協議會ノ委員會ヲ拵ヘテ置
キマシテ、其間ニ於キマシテ相互隔意ナキ
意見ヲ交換イタシマシテ、サウシテ協調ヲ
保ツヤウニ致シテ居リマスカラ、現在デハ
サシタル障礙ハ實際ニ於テハ全クナイカト
考ヘテ居リマス、大體申上デマスレバ以上
ノ通りデアリマス
○子爵朽木綱貞君 尙ホ是ハ少シ技術上ニ
互リマスカラ餘リ詳シイコトハ承リタクナ
イノデアリマスガ、波長ノ差ガドレ位デア
リマセウカ、若シ此處デ直グ伺ヒマスレバ

チヨット御市シテ願ヒタイ、ドレ位ノ差ガア
リマスカ
○政府委員(畠山敏行君) 華盛頓條約ノ附
屬一般規則ノ第五條ノ周波數即チ波長ノ分
配使用ト云フ條項ガゴザイマシテ、ソレニ
各種ノ業務ニ對スル周波數即チ波長ノ割當
ノ表ガゴザイマス
○子爵朽木綱貞君 只波長ダケ……餘リ長
イヤウデゴザイマスレバ後デ伺ヒマス
○政府委員(畠山敏行君) 實ハ御參考ニ差
上デマシタ無線電信關係法令集ノ三十五
頁カラ四十二頁マデ其波長ノ割當ガ詳細ニ
出テ居リマス、極ク短イ波長ニ付キマシテ
ハモウ「二メートル」位ノ所デハ其間ニ互
別ガゴザイマスケレドモ、ズット長イ波長ニ
ナリマスルト云フト、可ナリ「二三」メー
トル「モ」違タノモアルヤウデアリマスガ、
是ハ表ニ付テ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス
○子爵朽木綱貞君 今承リマシタノデアリ
マスガ、「二」メートルノ所デ御差支ゴザ
イマセヌカ
○政府委員(畠山敏行君) 此波長ノ極ク短
イノハ所謂短波長デゴザイマシテ、ソレニ
付キマシテハ使用ノ目的ガ大分違、テ居リ
マス譯デアリマシテ、此波長ノ割當ニ付キ
マシテハ、國際條約ニ於キマシテモ、ソレ
ゾレ其途ノ專門家ガ集マリマシテ、何等支
障ナイト云フ所デ決メタノデゴザイマスル

カラ、我々ニ於キマシテハ之ニ依ッテ聊カモ
實際ノ運用上差支ナイト考ヘテ居リマス
○子爵朽木綱貞君 軍隊ノ方ハ研究デアリ
マスガ、随分外デヤルコトガ多イノデアリ
マス、大キイノガゴザイマスガサウ云フモ
ノヲヤリマス場合ニハ主務省ト矢張り打合
セヲシタ上デヤルヤウニナツテ居リマセウ
カ、如何デセウカ
○政府委員(畠山敏行君) 軍用ニ付キマシ
テハ特別ノ周波數ヲ割當テ、居リマスノデ
アリマシテ、ソレナラバ一般ノ方ニ支障ガ
ナイト云フトニナツテ居リマスノデアリ
マスカラ、其個々ノ場合ニ付テ一々陸海軍
カラ打合せハナイノデアリマス
○子爵朽木綱貞君 新シイ實驗ヲヤリマシ
タ場合、不斷ノハ成ル程仰セラレル通りデ
アリマスガ、新シイヤウナ場合ニハ如何デ
ゴザイマスカ、別ニ打合せセズニヤツテ居リ
マスカ
○政府委員(畠山敏行君) 大體陸海軍ノ方
デ新シイモノヲヤリマス場合ニ於キマシ
テ、其試驗若クハ實際ノ運用ニ當リマシテ
一般ノ公衆通信業務ノ方ニ影響ガアル虞レ
ガゴザイマスレバ、今日ノ所デハ向フカラ
大體打合せガアル筈ニナツテ居リマス
○男爵三須精一君 今朽木子爵カラ御話ガ
アリマシタガ、其研究ト云フトニ付キマ
シテ日頃人カラ能ク聞レル所ガゴザイマス

カラ、テヨット當局ノ御答ヲ得タイト思ッテ居リマス、民間ニハ隨分此無線電話ニ付テモナカナカ研究ガ行ハレ、中ニハ非常ニ良イモノモアルヤウデアリマスガ、是ガ折角發達研究ヲ積ンデ行カウト云フ場合ニ、餘リ當局トシテノ規則ガ嚴シイ、爲ニ其發達ヲ阻止スルヤウナ傾向ガアルヤウニ聞イテ居リマスガ、當局トシテハソレニ付テ何カ御考ニナツタコトガアリマスカ

○政府委員(畠山敏行君) 現在遞信省ニ於キマス無線電信電話ノ研究者ニ對スル處理ノ方針ニ付キマシテ御尋ネデゴザイマシタノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ世間往住ニシテ誤リ傳ヘラレテ居ルコトガアルヤウニ思ヒマスノデアリマス、現在遞信省ニ於キマシテハ學術ノ進歩其他或ハ個人ノ發明慾ト云フモノヲ満足サス爲ニ、色々熱心ナ研究者ガ隨分アルヤウデゴザイマス、是等ノ研究ヲ助長サシテ、サウシテ文明ノ進歩ヲ助ケルト云フコトハ最モ是ハ必要ナコトデアリマスルカラ、遞信省ニ於キマシテハ是等ノモノニ對シテ十分同情ト好意ヲ以テ其發達ヲ遂ゲサスヤウニ致シテ居ルノデアリマス、只法規上ニ於キマシテハ許可ナシニ默シタルト云フコトハ出來ナイト云フコトニ現在ナツテ居ルノデアリマス、是ハ御承知ノ通りニ無線電信無線電話、何レニ致シマシテモ是ハ殊ニ遠方マデ自由ニ通

信ガ出來ルノデアリマシテ、割合ニ費用ヲ掛ケズニ其通信ノ目的ヲ達スルコトガ出來マスカラ、之ヲ何等取締ルコトナク自由ニ放任イタシマシタナラバ、結局此無線電信無線電話ノ進歩發達ヲ圓滿ナラシムルコトガ出來ナイノデアリマスルカラシテ、互ニ此無線電信無線電話ハ妨害シ合ヒマシテ逆モヤリ切レマセヌノガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ通信ノ取締ト云フ上カラ見マシテモ、之ハ自由ニ放任スルコトガ出來ナイノデアリマス、自由勝手ニ色々ノ通信ヲ個人相互間デアリマシテハ、其個人相互間ダケデハ宜イノデアリマスケレドモ、外ノ無線電話ノ機械デ聽カウト思ッたら聽キ得ルノデアリマス、其際ニ宜シクナイ通信ヲヤリマシテハ一國ノ治安ノ上ニモ害ガゴザイマスルノデ、是等ノコトヲ許可ナシニ施設スルト云フコトハ現在ノ法律デハ認メテ居リマセヌ、之ヲ認メテ非常ニ困タノハ亞米利加デアリマス、亞米利加ハ自由放任ヲ致シマシタノデ、御互ニ妨害シ合ッテ結局目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フノデ、數年前ニ此狀勢ニ鑑ミマシテ、亞米利加ノ方デモ現在デハ皆相當許可ノ手續ヲ執ラナケレバナラヌヤウナコトニ致シテ居リマス、歐羅巴各國ニ於キマシテハ、此日本ト同様ニ何レモ許可ヲ必要ト致シテ居リマス、ソレデ遞信省ニ於キマシテハ此日本ノ法律ニ基イ

テ許可ヲ申請シテ來ルナラバ、相當ノモノナラバ皆許可ヲ致シテ居ルノデアリマス、近頃盛ンニヤッテ居リマスノハ短波長ト申シマスモノデアリマス、是ハ隨分學生ノ若イ人達ノ中デ甚ダ熱心ニヤッテ居ル者モアリマスガ、ソレニ對シマシテハ實際眞面目ニ研究ヲヤッテ居ル、ソレハ只道樂半分ニ友達同志、玩具ヲイデルヤウナ積リデヤルト云フノデナケレバ遞信省ニ於キマシテハ許可ヲ致シテ居リマス、現在許可イタシテ居ル數モ相當ノ數ニ上ツテ居リマス、只之ヲヤカマシク言フヤウニ世間デ傳ヘラレマスノハ、偶々許可ナシニヤッタモノヲ遞信省ノ方ニ於キマシテ發見イタシマシタ場合ニ、法規ノ適用上ソレヲ默過スルコトガ出來マセヌカラ、先ヅ注意ヲ與ヘマシテ一應ハ止メサセテ、ソレカラ新ラシク許可ノ申請ヲサセマシテ、ソレニ付テ相當之ハ眞面目ニ研究スルモノデアリトスレバ、ソレニ付テハ將來ヲ戒シメテ再ビ許可ヲ與ヘルト云フ例モゴザイマス、遞信省ト致シマシテハ、此文化ノ發達ノ助ケニナルヤウナ無線電信、無線電話ノ研究ニハ十分同情ヲ寄セテ助長發達ニ努力イタシテ居ル次第デアリマス

○委員長(内田嘉吉君) テヨット速記中止

○委員長(内田嘉吉君) 速記開始、私ハ尙ホ一ツ放送ノコトニ付テ御尋ネヲシタイト思ヒマスガ、日本ノ現在ノ放送ニ於キマシテハ廣告ヲ許可シテ居ラヌノデアリマス、歐羅巴デモ許可ヲシテ居ナイ例ハ多々ゴザイマスガ、亞米利加デハ盛ンニ此放送ノ廣告ヲ許シ、且ツ實行ヲシテ居リマスノデ、放送ソノモノガ先程御話ノアリマシタヤウニ公安ヲ害シ、風俗ヲ害スルト云フヤウナ意味ノコトデナイ廣告デアル、即チ普通ノ新聞紙ニ於テ見テ居ル人ガ讀ミ得ルモノデ、差支ナイト御認メニナツタモノデアル、ソレト同ジモノデアルナラバ新聞紙ニハ差支ナイケレドモ放送デハソレガ惡イト、斯ウ云フ理窟モナイ譯デアリマスカラ、豫メ此種類ノ放送ナラバ差支ナイト云フヤウナ御施設ヲ爲サイマシテ、廣告ノ放送ヲ御許シニナツタラドウカト云フコトヲ豫メテ考ヘテ居リマシタガ、幸ノ機會デアリマスカラ一ツ御尋ネヲ致シテ見タイト思ヒマス

○政府委員(畠山敏行君) 廣告放送ハ亞米利加デハ盛ンニヤッテ居ルノデアリマスガ、亞米利加ハ實ハ聽取者ノ方カラ金ヲ取ラズニ、主ニ廣告費デ經營イタシテ居ルノデアリマス、所ガ是トモ聽取者ノ方デハ非常ニ迷惑ガッテ居ルノガ隨分アルヤウデアリマス、聽取者ノ或部分ノ人ハ、亞米利加ノ方デ盛ンニ廣告ヲヤッテ居ルケレドモ、廣告ハ自分達ハ實ハ聽キ度クナイ、「レシーバ」ヲ耳ニ當テ、何ヲ聽カセルカト云フト或商

店ノ宣傳ヲ聽カサレ、誠ニ詰ラヌト云フテ
隨分苦情ガアルヤウデアリマス、日本ニ於
キマシテハ公安ヲ妨害スルトカ、風俗ヲ壞
亂スルカラ廣告ハ止メテ居ルノデハナイノ
デアリマシテ、現在ハ日本「ラジオ」ハ公益法

人ガヤッテ居ルノデアリマス、公益法人ガ放
送ヲヤッテ居ルニ付キマシテ聽取者カラ料
金ヲ取ッテヤッテ居ルノデアリマス聽手ノ方
デ「レシーバ」ヲ耳ニ當テ、聽カシテ、サウ
シテ何ヲヤルカト思フト或商店ノ宣傳ヲス
ル、是ハ聽手ノ方ニハ非常ニ迷惑デゴザイ
マスカラ、一面ニ於キマシテ料金ヲ取ッテ置
イテ、而シテ廣告ヲ聽カセル、是ハ趣旨カ
ラ云ヒマシテモ如何ナモノデアラウ、又此
廣告ヲ認メルト云フコトニ付キマシテハ、
斯ル設備ヲ利用シテ廣告スルト云フコトハ
或公共的ノ機關ヲ營利的ニ利用スルト云フ
コトニナリマシテ、其方面カラ考ヘマシテ
モ考慮スベキコトデアル、是ハ現ニ日本ダ
ケデハゴザイマセヌ、歐羅巴各國ニ於キマ
シテモ廣告ヲ禁止シテ居ルト云フコトハ隨
分ヤッテ居リマスノデ、ソレハ國民ノ一部
ニ矢張り廣告ヲ「ラジオ」ニ依「テヤル」ト云フコ
トハ宜シクナイト云フ意見ガアリマスノ
デ、今日ハ止メテ居ルノデハナイカト思ヒ
マス、我々ノ方ニ於キマシテハ只今ノ處デ
廣告ヲ「ラジオ」ニ入レルト云フコトニ付キ
マシテハ、之ヲ認メテ宜シイト云フ意見ハ

マダゴザイマセヌノデ、只今ノ所デハ少ク
トモ公益法人デヤッテ居ル範圍ニ於キマシ
テハ、廣告ハ容易ク許スベカラザルモノダ
ト考ヘテ居リマス

○内田嘉吉君 只今ノ仰セデゴザイマシタ
ガ、新聞紙モ矢張り代金ヲ拂ッテ新聞ヲ買
テ、サウシテ廣告ヲ見ルノデアリマスカ
ラ、其點ノ推理ハ同ジコトニナルノデアリ
マス、私ハ尙ホ進ンデ今仰セニナリマシタ
ヤウニ公益法人ガヤルニシテモ、營利法人
ガヤルニシテモ成タケ聽取料ガ安ナルト
ニ云フコトヲ希望スル、結局ハ無料ニナルト
ニ云フコトニ進ムベキモノデラウト考ヘテ居リ
マス、果シテ廣告ガ亞米利加ノヤウニ發達
スルカドウカ知りマセヌガ、サウ云フ場合
ニ發達シテ來レバ日本デモ聽取料ナシニ何
人モ放送ヲ聞クコトガ出來ルト云フコトノ
時代ガ來ベキモノト考ヘマス、ソレカラ嫌
ヒノ人モ好キノ人モアル、現ニ今日演藝ノ
放送ヲシテ居リマスノデモ、我々ノ嫌ヒノ
モノガアッテ、ア、ニ云フモノハナイ方ガ宜
イト思フモノモアルシ、外ノ人ハアタ方
ガ宜イト云フヤウニ、色々人ニ依リマシテ
考ガアリマスカラ、ソレハ其時間ニサウニ
フモノニ付テハ聽クコトガ厭ダト云フ人
ハ、聽カナケレバ宜イ譯デアリマスカラ、
私ハ此問題ハモウ少シ政府ニ於テモ御考慮
ヲ下サッテ、結局無料ニスルト云フ所マデ進

ンデ、サウシテ取締上遺憾ノナイコトト、ソ
レカラ隨意ニ聽取器械ノ改良ヲスルコトヲ
獎勵ヲスルヤウニ相成タ方ガ公益上結構
デヤナイカト思ヒマス、是ハ多少意見ニモ
互リマスノデ、只ソレダケノコトヲ申シテ
只今ノ質問ハ終リタイト思ヒマス

○男爵三須精一君 只今「ラヂオ」ノ御話ガ
出マシタガチヨット御伺ヒイタシタイノデ
アリマス、此無線電話ト云フモノハ公安ヲ
害シ又風俗ヲ壞亂スルモノト認メルト云フ
ノハ、若シソレガ放送シタ場合ニ、其認メ
ル時ニハ既ニ放送シタ後デヤナイカト思ヒ
マスガ、サウ云フ場合ニハ當局トシテハ此
取締ニ對シテドウ云フ處置ヲ御執リニナル
ノデスカ

○政府委員(畠山敏行君) 「ラヂオ」ヲヤッ
テ居ル際ニ公安ヲ妨害スルトカ風俗ヲ壞亂
スルトカ云フコトヲ認定シマスノハ、聽イ
テカラ後ニナルノデハナイカト云フ仰セハ
御尤モデゴザイマスガ、「ラヂオ」デ放送イ
タシマスモノニ付キマシテハ放送局ニ於
テ、例ヘバ「ニュース」デゴザイマス「ト云フ
ト、「ニュース」ノ原稿ヲ監督官廳ノ方ヘ出
シテ居リマス、又講演ニ付キマシテハ講演
ノ大體ノ要領ヲ出シテ居リマス、サウ云フ
風ナモノガゴザイマシテ、豫メ此「ニュー
ス」ハ出シテハ宜シクナイト云フテ停止ス
ルヤウナ譯デゴザイマス、ソレカラ第八條

ノ二ニ書イテゴザイマス主務大臣ノ指定シ
タル電信官署又ハ電話官署ニ於テ之ヲ停止
スルト申シマスノハ、是ハ郵便局、電信局
等ヘ無線電信ヲ出シニ行キマシタ場合ニ其
通信ノ内容ガ不都合ナモノデアリマシタナ
ラバ、其通信ヲ送ラサズシテ差止メルト云
フコトニ致スト云フ權限ヲ與ヘタイ、斯ウ
云フ趣旨デ出來テ居リマス、此八條ノ二ノ
前段ハ大體郵便局、電信局ニ於テ受付ケマ
シタ場合デアリマス、後段ノ場合ハ只今申
シマシタ通りニ放送局ノ「ニュース」、講演
ナドニ付キマシテノ豫メ原稿ノ來マシタ場
合ノコトヲ主ニ指シテ居ルノデアリマス、
尙ホ放送最中ニ於テモ話ノ模様ニ依ッテ是
ハイケナイト思フト、監督者ガソコニ居リ
マス「ト云フト、ソコニ差止命令ヲ出スト云
フコトハ想像シ得ルノデアリマス、大體サ
ウ云フ趣旨デハ八條ノ二ハ出來テ居ルノデア
リマス

○男爵三須精一君 「ラジオ」ヲ掛ケマスル
ト逋信省ノ方デハ特許料ト云フモノヲ取リ
マス、此特許料ト云フモノハ大分色々ナ方
面デ斯ウ云フモノハ廢メタラドウダト云フ
話モ聽クノデアリマスルガ、當局トシテハ
アレハ當然取ルベキモノダト云フ御考ヘデ
アリマセウカ

○政府委員(畠山敏行君) 我々ノ方デハ特
許料ヲ取ルト云フコトハ理由ガアルト思ッ

テ居ルノデアリマス、成ル程「ラジオ」ヲ普及サスト云フ上カラ申シマスレバ、出来ルダケ負擔ヲ輕クスルト云フコトニ付キマシテ、先刻委員長カラ仰セニナリマシタ通りニ我々其趣旨ニ於テハ賛成イタスノデアリマス、然ラバ何ノ故ヲ以テ今日特許料ヲ取ッテ居ルヤト申シマス、素モ「ラヂオ」ノ聴取器ヲ付ケルト云フコトニ付キマシテハ、法律上デハ許可ガナケレバ付ケルコトガ出来ナイ、許可ガアッテ初メテ付ケルコトガ出来ルヤウニ致シテ居ルノデアリマス、是ハ先程申上デマシタヤウニ、取締上ノ關係カラ出發イタシテ居ルノデアリマス、所デ許可ヲ致スニ付キマシテハ逋信省ノ内部ニ於キマシテモ相當ノ手續ヲ經マシテ、ソレヲ書類ニ認メ、又之ニ付テ許可書ヲ與フルト云フ風ニ色々ノ手續上ノ費用モ掛リマスノデアリマス、又聴取者カラ申セバ特ニ許可ヲ得テ施設スルコトガ出来ルト云フ特權ヲソレニ依ッテ付與サレルノデアリマス、僅カ一圓ノ特許料デアリマスノデ、一圓位ノコトデアレバ特權ニ相當スルモノト見ルコトモ出来マスシ、又關係官廳ノ手數並ニ經費ニ對スル代償ト云フコトモ出来マスノデ、要スルニ性質カラ云ヘバ是ハ特許料デゴザイマスガ、内容カラ申シマスレバ今ノ一部ノ經費ヲ補填スルト云フコトニモ當ルノデアリマス、元ハ特許料ハ年々歳々一圓

ヅ、取ッテ居ッタノデアリマス、非難ガアリマシタノハ寧ろ年々歳々取ルト云フノハ甚ダ不都合デハナイカ、一年々々ニ手數ガカルノデハナイノデアルカラ、一遍ダケ特許料ヲ取レバ宜イノデアル、毎年々々繰返シテ取ルト云フコトハイカヌト云フ、斯ウ云フ非難ハ相當アッタノデアリマス、其時ニ於キマシテハ、逋信省ノ考デハ是ハ一年間特許デアル、一年間期限ヲ滿了スレバ又其次ノ一年間ニ付テハ新シイ特許ト看做スコトガ出来ルト、斯ウ云フ風ニ説明イタシテ居ッタノデアリマス、併ナガラ年々歳々特許料ヲ取ルト云フコトハ、「ラヂオ」ノ普及ヲ妨害スルト申シテハ言ヒ過ギマスガ、「ラヂオ」ノ普及ヲ發達助長スル所以デヤナイト考ヘマシタノデ、數年前ニソレヲ規則ヲ改正イタシマシテ、年々歳々特許料ヲ取ルコトヲ止メマシテ、特許料ハ許可ノ際一圓取ルト云フコトニ改正イタシマシタ譯デゴザイマス、尙特許料ハ今日ハ一圓デゴザイマスケレドモ、此一圓ノ金ガ必シモ絶對ニ動カスベカラザルモノトモ私共ハ考ヘテ居リマセヌ、尙先刻委員長ガ仰セニナリマシタヤウニ、放送局ノ取ル料金ニ致シマシテモ今日一圓ノ料金ガ適當アッテ必シモ永久ニ動カスベカラザルモノトモ私共ハ考ヘテ居リマセヌノデ、此普及ヲ助長スル主義カラ申シマスレバ、聴取者ガ殖エレ

バ殖エルダケ放送局ノ經營狀態ガ樂ニナルノデアリマスカラ、聴取料ノ方ハ出来ルダケ下ゲテ、經濟ノツク限リ下ゲテ行クコトガ必要デアラウト考ヘテ居リマス、特許料ノ方ハ只今申上デマシタ通り特權ヲ付與スルト云フ趣旨カラ來テ居ルノデアリマシテ、之ヲ二圓ニスルトカ三圓ニスルトカ云フコトハ、自由ニ決メ得ルノデアリマスルケレドモ、先ヅ一圓ト云フノガ極ク分カリ易イ數字デアリマスシ、又コチヲノ實際ノ費用カラ申シマシテモ、各個人カラ一圓位取レバ一體ソレデ經費ガ償フノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘタノデ、此方ハ先ヅサウ動カス必要ガナイデハナイカト考ヘルノデアリマス、併ナガラ將來又「ラヂオ」ノ普及ヲ助長スル上カラ申シマシテ、經費ノ實際ノ狀況ヲ調べマシテ、若シ之ヲ下ゲ得ルナラバ、其時ニ考慮シテ宜シイモノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長(内田嘉吉君) 御尋ネヲ致シマスガ、第二十條ノ二、第二十二條ノ二、二十六條、二十七條、二十八條等ニ罰則ガゴザイマスガ、マダ他ノ此罰則ニ似テ居ル刑法其他ノ箇條ニ付テ取調ベノ暇ガゴザイマセヌガ、此各條ハ電信法、其他通信ニ關係スル法律若クハ刑法等ノ類例ニ照ラシマシテ、御調べニナツタモノトハ考ヘマスガ、極ク簡單デ宜シウゴザイマスガ各條ノ何ハド

ウ云フ例ニ依ッテ斯様ノ規定ガ出来タカ、殊ニ他ノ類例カラ考ヘテ見テ重カラズ、輕カラズ、公平デアルト云フヤウナ點ニ付テ御調べガゴザイマスナラ伺ヒタイ、若シナケレバ後デモ宜シウゴザイマスガ、類例ヲ一ツ御調べ置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(富山敏行君) 此刑罰ノ程度ハ主トシテ無線電信法ノ他ノ條文トノ權衡上カラ考ヘマシテ、司法當局ト十分打合せタル決定イタシタ次第デゴザイマス、二十條ノ二ハ無線電信、無線電話ヲ以テ知り得タル通信ノ秘密ヲ漏シタル者ニ付キマシテノ刑罰ノ規定デアリマスルガ、是ハ一年以下ノ懲役若クハ二百圓以下ノ罰金ニ處ストナッテ居ルノデアリマス、此條文ハ現在ノ二十條ノ規定ニ矢張り是ハ通信ノ秘密ヲ漏シタル者ニ付キマシテハ一年以下ノ懲役、二百圓以下ノ罰金トナッテ居リマスルノデ、是ト同ジ程度ト考ヘマシテ同様ノ刑ニ致シタノデアリマス、ソレカラ二十二條ノ二、是ハ公安ヲ妨害シ風俗ヲ壞亂スル通信ヲ發シタル者ニ付テノ刑罰ノ規定デゴザイマスガ、此刑ノ程度ハ現在ノ二十二條ノ規定デゴザイマス虛偽ノ通信ヲ發シタル者ノ刑罰ノ程度ガ、矢張り二年以下ノ懲役五百圓以下ノ罰金ニナッテ居リマスルノデ、是ト同様ノ程度ト考ヘマシテ同ジ刑罰ニ致シタノデアリマス、ソレカラ第二十二條ノ二ノ第二項

デゴザイマスガ、只今ノ公安ヲ妨害シ風俗ヲ壞亂スル通信ヲ發シタル者ノ中デ、現ニ其事務ニ從事イタシテ居ル者ガヤツ場合ニハ重キ刑ニ致シテ居ル、過重刑ノ規定デアリマスガ、是ガ現在ノ二十二條ノ第四項デゴザイマス、第四項ノ規定ガ矢張り五年以下ノ懲役若クハ千圓以下ノ罰金ニナッテ居リマスノデ、是ト同様ニ見ルベキモノデハナイクト考ヘマシテ、現在ノ改正案ノ中ニ規定イタシタ譯デアリマス、ソレカラ二十六條未遂罪ハ之ヲ罰スト云フ規定デアリマスルガ、現在無線電信法決メラレテ居リマスル各種ノ刑罰ハ何レモ未遂罪ヲ罰シテ居リマスノデ、此度新ラシク加ヘタイト思ヒマシタ第二十一條ノ二ト第二十二條ノ二、兩方共未遂罪ヲ罰スルコトガ適當ト考ヘタノデアリマス、要スルニ此度ノ刑罰ハ現在ノ無線電信法ノ他ノ規定ニ於テ定メテアリマスル刑罰ト權衡ヲ取ルコトニ重キヲ置イタ次第デゴザイマス

○委員長(内田嘉吉君) 二十七條モ矢張り大體サウ云フ譯デスネ、是ハ現在ノモノト同ジデスカ、二十七條モ十三條モ……

○政府委員(畠山敏行君) 十三條ト云フ規定ハ、ハ許可ナシニ無線電信ノ機械ヲ付ケテ居ル、無線電話ヲ設備スル、サウ云フ疑ガアリマス、政府ノ役人ガ其施設スル場所ニ立入シテ検査スルコトガ出來ル、斯ウ

云フコトニナッテ居リマスガ、検査ヲシニ参リマス時ニ役人ノ調べヲ致シマスノニ付テ妨害ヲシマス、或ハ嘘ヲ吐クトカ、返事ヲセヌ、斯ウ云フ場合ノ規定デアアルノデアリマス、所ガ十三條ノ二ト云フノヲ加ヘマシタノハ全ク同ジヤウナ趣旨デアリマシテ、許可ナシニ施設シタ無線電信ヲ調べニ行クノデナシニ、許可ヲ得テ居ルノデアリマスケレドモ、許可ヲ得テ居ル無線電信ノ機械ガ古クナリマシテ、ソレカラ發射スル電波ガ宜シクナイ、其爲ニ外ノ無線電信ヲ妨害スル、或ハ其機械ノ動シ方ガ惡イ爲ニ外ノ無線電信ヲ妨害スル、斯ウ云フコトガアリマシタ時ニ監督上必要ガゴザイマスカラ、検査官吏ガ其場處ニ立入ッテ矢張り見タリ聞イタリスル、其時ニ妨害スルコトガアッタナラバ矢張り罰則規定ガゴザイマス、ソレハ先刻申上デマシタ許可ナシニヤツテ居ル者ヲ調べニ行キマス時ト同様ト考ヘマシテ、第二十七條ノ規定ノ中ヘ十三條ノ二ト云フコトヲ入レマシタ、全ク同様ノ刑罰ヲ課シタイト云フノデ斯ウ云フ風ナ規定ニ致シタノデアリマス

○委員長(内田嘉吉君) モウ一ツ御尋ネ致シマスガ、一番終ヒノ二十八條ノ三ト云フノハ何カ斯様ナ處置ニ付テノ前例ガゴザイマスノデアリマスガ、其前例ハドウ云フコトデアリマセウカ

○政府委員(畠山敏行君) 公衆通信即チ一般國民ノ利用致シマス電信電話デゴザイマス、ソレハ一般ノ利用ニ供サレテ居ルノデゴザイマシテ、其通信ガ十分ニ完全ニ行クヤウニスルト云フコトハ、國民全體ノ利益ヲ増進スル上カラ見マシテ非常ニ必要デゴザイマス、所ガ無線電信無線電話ノ施設ヲシテ出來ルダケ完全ニ致シマシテモ、外カラ無線電信ト同ジヤウナ電波ガ出テ参リマシテ、ソレデ折角澤山ノ金ヲ掛ケテ設備ヲシテ居ル無線電信無線電話ノ設備ガ、其働キヲ十分完全ニヤルコトガ出來ナイコトガアルトシマスレバ、其國民全體ノ利益ニ供シテ居ル公衆通信ノ設備ノ働キヲ十分ニ達デサス爲ニハ、ソレニ妨害ヲ與ヘルヤウナ設備ニ付キマシテハ、相當ノ制限ヲ附ケテヤルコトノ必要ガ十分ニアルト考ヘルノデアリマス、ソコデ現在マデハドウ云フヤウニヤツテ居ルカト申シマスルト、結局自分ノ方ノ無線電信ノ方デ外カラ妨害サレナイヤウニスルトコトガ第一ニ執ルベキ方法デアリマス、送ル方ノ電力ヲ強クシマス或程度マデ差支ナイノデアリマス、所ガ受ケル方ノ設備ハ遠方カラ來ル電波ハ段々力ガ弱クナリマシテ、受ケル機械ノ側ニ妨害ヲ與ヘマスモノガゴザイマス云フト、如何様ニ致シマシテモナカ……巧タイカヌノデゴザイマス、サウ云フモノニ付キマシテハ相手

方、邪魔ヲスル方ノ設備ニ對シテソレヲ邪魔シナイヤウニスルト云フ方法ガゴザイマスモノデスカラ、ソレデ其方法ヲ執ルコトニシマシタ、ソレガ爲ニ必要ナ費用ハ是ハ政府ノ施設ノ爲ニ相手方ノモノヲ改良サスコトニナルノデアリマスルカラ、其費用ヲ相手方ニ渡ス斯ウ云フ工合ニスルノデアリマス、此事ハ無線電信ニ付キマシテハ新シク規定ヲ設ケタノデアリマスルケレドモ、現ニ此有線電信、有線電話ニ付キマシテハ電信電話建設條例ニ於キマシテ通信ヲ妨害スル電燈線、電力線ガアリマスルト云フト其線路ヲ變ヘサス、或ハ設備ノ變更ヲサスト云フコトモ出來ルノデアリマス、或ハ電信電話ノ線路ノ通テ居ル時ニ木ノ枝ガ段段繁テ参リマシテ、葉ガソレニ掛ッテ電氣ガ漏レテシマウコトガアルトイケマセスカラ、其時ニ木ノ枝ヲ切ッテシマッテモ宜シイ、併シソレガ爲ニ相當ノ費用ヲ賠償シテヤルト斯ウ云フ前例モゴザイマス、無線電信ノ設備ノ運用ヲ十分ニサスガ爲ニ、之ガ弊害ヲ與ヘルコトニ付キマシテハ、ソレヲ改良サスト云フコトハ新シク今度入レタイト思ヒマス、此前例トシマシテハ有線電信電話ニ付テハ前例ガゴザイマス

○委員長(内田嘉吉君) 一寸伺ヒマスガ、建設條例ノ第何條デアリマスカ

○政府委員(畠山敏行君) 建設條例第三條

第七條デアリマス、第三條ニ於キマシテハ斯ウ云フコトガ書イテゴザイマス「公衆通信ノ用ニ供スル電信電話線ノ建設又ハ通信ニ障礙アル瓦斯支管、水道支管下水支管電燈線電力線及私設電信電話線ヲ所有者又ハ其他ノ權利者ニ命ジテ移轉セシムルコトヲ得」ハ第三條ノ規定デゴザイマシテ、第七條ニ損害補償ノ規定ヲ定メテ居ル譯デアリマス

○委員長(内田嘉吉君) モウ一ツ御尋ネシマスガ第十五條ニ新ニ這入リマシタ航行ノ安全、是ハ今回倫敦デ開カレルヤウデアリマスガ、ソレ等ノ矢張條約其他ニ關係ノアルコトモ其中ニ包含スル譯デスガ、航行ノ安全ト云フ文字ノ中ニハ……

○政府委員(畠山敏行君) 此航行ノ安全ニ付キマシテハ、過般ノ華盛頓會議ニ於キマシテ無料ニ取扱フト云フコトニ致シマシタノデアリマス、從テ國內ノ關係ニ於キマシテモ無料ノ扱ヒニシタラ宜カラウト考ヘタノデアリマス、今迄ハ時ヲ知ラセルノト、氣象ヲ報告スルノト、船ノ難船セムトスル際ニ救助ヲ求メマス、危急ノ程度ノ非常ニ強イ場合ニノミ無料デ取扱ッテ居ッタノデアリマス、所ガ今將ニ難船スルト云フ時ニナラナクテモ、航海中ニ或ハ浮流水雷ガアルトカ、或ハ氷山ガ流レテ來タトカ、或所ノ燈臺ガ働キガ急ニ變ッテ來タトカ、斯ウ云フ

コトガ今アルトシマスルト、ソレガ誰デモ知ッタモノハ自分タケハソレデモウ少シシテ難船スルノガ助カッタケレドモ、外カラ來ル船ハ同ジヤウニ來テハ間違ヒヲ起スカ知レヌカラ、之ヲ知ラシテヤルコトガ必要デアル、斯ウ云フ風ナコトガ往々ニシテアル、今迄サウ云フモノハ無料デヤルコトハ出來マセヌカラ、金ヲ出シテ迄外ノ局ニ知ラスコトハヤリタクナイト云フノガ往々ニシテアルカト思ヒマス、サウシマスト一般ノ航海ノ安全ノ爲ニ宜シクゴザイマセヌカラ、是等船舶ノ航行ニ付キマシテ安全ノ爲ニ設ケテアル燈臺デアルトカ、若クハ標識ノ動作ノ突發的ノ變化デアルトカ、或ハ飛行機ノ航空ニ付キマシテ危險ナル突發的ノ現象デアルトカ、或ハ飛行場ニ於ケル突發的ノ障礙ノ通知デアルトカ、或ハ航路ノ上ニ横タハッテ居ル所ノ浮流水雷其他危險物、或ハ水流等ノアリマシタコトヲ發見致シマシタ場合ニ付テ、其發見シタ事實ヲ知ラセルト云フコトニ付テ無料ニスルト云フコトガ、今度航行ノ安全ト云フコトノ規定ヲ入レタ趣旨デゴザイマス、今年倫敦デアリマス聯盟安全條約ニ於テ、航行ノ安全ト云フコトガ如何様ニ決メラレルト云フコトトハ全ク關係ハゴザイマセヌ

○委員長(内田嘉吉君) 併シ今度ドウ云フコトガ決マルカ分リマセヌガ、併シ其會デ決リマシタコトハ矢張航行ノ安全ニ關係ノアルコトダカラ、只今ノ所デハ御分リニナリマスマイガ、條約ニナッテ決シタ場合ニハ矢張りソレ等ニ付テ必要ナコトハ、廣イ意味ノ航行ノ安全ト云フコトデアルナラバ、網羅セルモノト見テ差支ナイヤウニ思フノデソレデ御尋ネシマシタノデスガ、條約ガ出來テ見ナイト云フトドウ云フコトガアルカ分ラヌカラ、分ル迄ハ御留保ニ相成ッテ居ッテモ宜シウゴザイマスガ、大體ハ廣イ意味ダラウト思ヒマス如何デゴザイマス

○政府委員(畠山敏行君) 國際條約ニ於キマシテ航行ノ安全ニ關スル無線電信ヲ無料ニスルト云フコトニ決メマシタノハ、可ナリ制限シテ居リマスノデ、現在迄船舶遭難「エス、オー、エス」信號ヲ出シマシタ場合ニ於テ無料ニシテ居リマシタガ、實際ノ實狀ニ適セズト云フ趣旨カラ今少シ廣ゲル必要ガアルデハナイカト云フノデ、航行安全ト云フコトヲ國際無線電信條約デ入レタノデアリマス、今度ノ法律ノ改正ニ付キマシテハ大體サウ云フ趣旨デ餘リ廣ク航行ノ安全ニ關スル何デモ無料ニスルト云フ趣旨デハ實ハゴザイマセヌデス、現在デハ船舶遭難、時ヲ知ラレル、平時氣象報告、斯ウ云フ工合ニ限定致シテ居リマスノデ、航行ノ安全ニ付キマシテハ之ヲ廣クヤルト云フコトニ致シマスル際限ガアリマセヌノデ、

成ベク是ハ制限的ニ決メテ置クト云フコトガ、國際條約等ノ趣旨カラ考ヘテ適當ノ趣旨デハナイカト思フノデアリマシテ、唯文字ガ航行ノ安全ト稍廣クナッテ居リマスケレドモ、是ハ其命令ノ定ムル所ニ依ルト云フコトニナッテ居リマスノデ、命令デ定メマス時ニ此範圍ガモットハッキリ致スヤウニシタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス

○委員長(内田嘉吉君) 御諮リヲ致シマスガ、マダ御質問ハゴザイマスデセウカ、御都合ニ依リマシテ今日ハ此程度ニ止メテ又明後日繼續致シマスカ、或ハモウ御質問ガゴザイマセヌケレバ、引續イテ討論決議ニ移リマセウカ

○子爵朽木綱貞君 外ニマダ今日御出デニナラヌ議員方モ御出デニナリマスカラ、此次ニ尙ホ暫ク質問ノ何ヲ御與ヘニナラムコトヲ希望致シマス、尙ホ大臣閣下ハ御忙シイコトデゴザイマスカラ、若シ何デゴザイマシタラ御出デニナランデモ質問ヲ續行シタイト思ヒマス

○委員長(内田嘉吉君) ソレデハ本日ハ此程度ニ止メマシテ明後日二十二日ノ朝ハ如何デゴザイマセウカ

○子爵朽木綱貞君 午後デナイト酒井伯爵が出ラレナイト云フコトデゴザイマス

○委員長(内田嘉吉君) ソレデハ二十二日ノ午後一時半カラ更ニ開會イタシマス、御

苦勞様デゴザイマシタ、是デ散會イタシマ
ス

午前十一時五十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 内田 嘉吉君

副委員長 男爵三須 精一君

委員

子爵朽木 綱貞君

鍋島桂次郎君

若尾 璋八君

森田 福市君

國務大臣

逓信大臣 久原房之助君

政府委員

逓信省電務局長 畠山 敏行君